



適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0		固定化しないよう外部情報等を参考に新しい活動の採用に努めていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	0	5	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	課題となる特性や発達を鑑み、計画作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	0	事故防止に役立っている。	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0	毎日ではないですが、定期的に行っています。	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0		行政ルールに従って実施していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3	2	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0		行っていますが、社内周知を徹底します
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	1	今現在医療的ケア児はいない。まだ医療的ケア児を受け入れたことがないためわからない。	相談支援員を介し連携を強化していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	0	今現在、対象児がいなく事案発生していない。まだ卒業生が出ていない。	相談支援員を介し連携を強化していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		小児科・精神科の医師と連携し助言を受けていますので、今後は得た情報の社内周知を徹底します
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1	感染症者が急増することがあるため、計画を立てても対策の観点で交流機会をつくるのが難しかった。	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	0		参加を行っていますが社内周知を徹底します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	0		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	座談会開催	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	0	座談会開催	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	会報はない	公式LINEでの発信頻度を増やすことで対応します
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	0		
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0		社内ルールを設定し共有するよう努めます
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	自教室には対象児はいませんが、事業所内で行っている。	適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	0	ヒヤリとした事の共有は全体を通して行っています。	事故報告書として共有できる運用をしていますが、社内周知を徹底します

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 4月 15日

事業所名 グーニーズ皆生

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		2	0	利用人数が多い日は、少し狭く感じる。利用キッズ全体に目が届くよう意識しながら支援を行い、人目が足りそうにない時は声を掛け合って安全運営が出来るよう配慮を行っていた。	
	2	職員の配置数は適切である	9		1	0	活動等に応じては規定のスタッフ数以上の配置で余裕を持った支援が行えるよう都度相談しながら運営を行うこと出来ていた。	行政ルールに従って実施していきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		3	2	玄関の段差が大きくなっている。バリアフリーではない。部屋と部屋の境に段差があるので、現時点で困り感はないが、段差がなければよりバリアフリーになると感じる。	賃貸のため大家と相談し適切な工事や改修を行なっていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		3	1	計画が疎かになりがち。必要事項の全体共有を積極的に行なっていきたい。定期的なミーティングを行い、職員全員で共通の認識を持って取り組めるよう工夫されていると思う。毎日教室内でミーティング時間を設け、日々の気になる点や全体的な課題の話し合い、その解決に向けた案の出し合いを行っている。あまり参加出来ない職員と参加する職員が生まれがちなので、なるべく全体で参加できるように日時などを設定している	議事録の共有を徹底します
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		3	0	意向に耳を傾け、改善に努めていると思う。保護者から公式LINEや電話等で受けた相談や共有は、スタッフ間でも共有し、全員が把握した上で対応できるようにすると共に、より良い運営方法を日々探りながら支援にあたっている。	行政ルールに従って実施していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		3	1		行政ルールに従って実施していきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		6	0		行政ルールに従って実施していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		2	0	事業所内研修の他、外部研修も随時参加している。定期的なミーティングと、必要に応じた研修が行われているか。研修の参加を呼びかけたり、職員が調べてきたものについて参加することができる。	外部研修の補助等を行っていますが、社内周知を徹底し促進していきます
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		1	0	研修の参加を呼びかけたり、職員が調べてきたものについて参加することができる。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		2	0		他施設や行政の情報を参考に可能な範囲で対応します
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		0	0	教室内のスタッフで詳しいスケジュールやスタッフ配置のバランス等話し合いながら、時には担当を決め、全体的な見通しを立てながら進めることできている。活動はその日の職員全員で話して決めるようにしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		2	0	色々なジャンルの活動を取り入れるようバランスを見て予定を組んでいる(体育館で身体を動かす活動・工場見学・工作系イベント参加等)	固定化しないよう外部情報等を参考に新しい活動の採用に努めていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		1	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます

な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	0	必ずスタッフ全体で、送迎表の確認(迎えに行くキッズ・時間や通常と異なる対応が必要なキッズの対応等)確認し、一人ひとりの役割を把握する時間を設けている。個々の最近の様子などを共有しながら気をつける点などを丁寧に確認している。	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りをしやすい運用を検討します
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	1	昼食後のミーティングで前日の振り返りを含め行なっている。時間が取れないこともあるが、翌日支援までの間にはできていると思う。LINEでその日起きたことなどで共有すべきことがあれば共有している。	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	0		行政ルールに従って実施していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	7	3	0	ガイドラインがわからない	小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	0	時々、共有が不足していると感じる。保護者や学校と連絡を取り合いトラブルがなるべく起きないようにしている。	行っていますが、社内周知を徹底します
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5	1	該当者がいない	相談支援員を介し連携を強化していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4	0		相談支援員を介し連携を強化していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4	0		小児科・精神科の医師と連携し助言を受けていますので、今後は得た情報の社内周知を徹底します
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	2	近隣の公園では地域のお子さん方と自然と交流を行っている。あまり多く機会を設けられていないが、地域のイベントに参加した際や公園での活動の中での交流を楽しむ姿は見られている。今後、更に積極的に交流の輪を広げられると良いと感じる。	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6	2		参加を行っていますが社内周知を徹底します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	0	毎日の様子を日誌という形でなるべく詳細に伝えている	公式LINEを中心に行っていますが、社内周知を徹底します
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	5	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	0		契約時に説明を行っていますが、全社員が参加しているわけではないため、実施していることの社内周知を徹底します	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	0	保護者からの悩み等相談や意見があった際にはスタッフ間で共有し、丁寧なより良い返答が出来るよう努めている。送迎などの際や連絡があった際に親身に相談を聴き返答をしている。	適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7	0	感染症流行があり計画はしていたものの実施する機会が限られた。時々、座談会を行っている。今後ももっとそのような場が設けられるといいと感じる。	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1	0		適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2	0	パンフレット作成や、SMSを活用している。保護者には公式LINEにて都度連絡を流すとともに、キッズ達には紙に書いたものを提示するなどし、見通しをもって活動等に組み入れるよう工夫している。	公式LINEでの発信頻度を増やすことで対応します
	35	個人情報に十分注意している	10	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2	0		事業所玄関へファイリング掲示、共有ドライブにも保管していますが、社内周知を徹底します
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2	0		社内ルールを設定し共有するよう努めます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1	0	医師、もしくは保護者の指示のもとで適切な対応を行なっている。アレルギー児の一覧を見えるところに掲示し、おやつ準備の際などに気をつけることが出来るよう配慮している。	適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2	1	報告書と共にスタッフ間のラインでも共有し、意識して全体で気をつけて行けるよう努めている。	事故報告書として共有できる運用をしていますが、社内周知を徹底します

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 4月 15日

事業所名 ゲーニーズUP

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	人数によって仕切りを外して、広く使えるようにしている。 遊び別に部屋を分け、それぞれが活動しやすい工夫を行なっている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0		行政ルールに従って実施していきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	2	バリアフリーではないです。	適切な工事や改修を行なっていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		議事録の共有を徹底します
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0		行政ルールに従って実施していきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	0		行政ルールに従って実施していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	受けれる研修はなるべく受けるようにしています	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	教室のスタッフ全員で情報を共有しながらよりよい計画案ができるように話し合っています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	0		他施設や行政の情報を参考に可能な範囲で対応します
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	4	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	毎日ミーティングをしています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	0	気になった点や利用者の成長を感じた点など 気付いたことは都度共有している	終礼もしくは翌日の朝礼を活用して、振り返りを行いやすい運用を検討します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0		行政ルールに従って実施していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0		小児科・精神科の医師や専門家との連携を強化し、支援の質向上に活かしていきます	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	下校時間が曖昧な時はそのままにせず学校に確認をしています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1	該当する児がいない	相談支援員を介し連携を強化していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1	まだ該当がない	相談支援員を介し連携を強化していきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1		小児科・精神科の医師と連携し助言を受けていますので、今後は得た情報の社内周知を徹底します
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	0	障害福祉サービス事業所連絡会には参加し、地域自立支援協議会の内容を聞いている	参加を行っていますが社内周知を徹底します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0		契約時に説明を行っていますが、全社員が参加しているわけではないため、実施していることの社内周知を徹底します
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	0		感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0		公式LINEでの発信頻度を増やすことで対応します
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		適宜対応していますが、実施していることの社内周知を徹底します
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	0	LIVEを行なった	感染症リスクの状況を考慮し実施していきます
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	マニュアルは周知はしていないが、感染対策等は公式LINEに流している	事業所玄関へファイリング掲示、共有ドライブにも保管していますが、社内周知を徹底します
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	アレルギー該当児がいない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		